

韭 工 ニュース

県立韭崎工業高等学校
第195号

総務部
2019.11.29

甘利山登山強歩大会 ホンダ燃費競技会 国体優勝北脇君 ロボコン山梨2019

甘利山登山強歩大会

10月30日(水)、今年で52回目となる甘利山登山強歩大会が開催されました。台風19号の影響が心配されましたが、当日までには倒木などもきれいに撤去され、無事スタートすることができました。コースは、学校を出発し、男子は甘利山山頂展望台往復30kmで標高差1,153m、女子は榎池往復21km、標高差は853mです。朝9時15分に441名の生徒が



元気よく出発し、16時15分の制限時間までに420名の生徒が完走しました。男子の第1位は2年5組中村悠人君で2時間28分6秒、女子の第1位は2年2組の竹内彩花さんで2時間27分1秒という記録でした。完走率は95.2%と9年連続で90%を超えました。

燃費競技参加

9月28日(土)、29日(日)の2日間、エコカー部がホンダエコマイチャレンジ全国大会に参加しました。今年は、空気抵抗を減らすために10年ぶりにFRP(グラスファイバー製)で新しい車体を作成しました。エンジンを改良する時間が無かったので、記録は伸びなかったのですが、同一仕様のエンジンで初めて旧FRP車両の記録を超える車両が出来上がりました。来年度はエンジンの改良によって、本校の記録(1225km/l)を超える可能性が出てきました。今後にご期待下さい。(今年は1018km/l(16位)と989km/l(18位)・高校生クラス137チーム中)



のエンジンで初めて旧FRP車両の記録を超える車両が出来上がりました。来年度はエンジンの改良によって、本校の記録(1225km/l)を超える可能性が出てきました。今後にご期待下さい。

(今年は1018km/l(16位)と989km/l(18位)・高校生クラス137チーム中)

レスリング部国体優勝北脇選手

9月28日(土)から10月1日(火)、茨城県水戸市で行われた国民体育大会に、本校からは6名の生徒が参加しました。前半のフリースタイルでは71kg級に2年生の鈴木大樹君、125kg級に3年生の篠原晃司君が出場しました。71kg級の鈴木君はテクニカルフォール勝ちで順調に勝ち上がりましたが、準決勝は僅差で敗れ3位入賞でした。125kg級の篠原君は準々決勝敗退で5位入賞でした。後半のグレコローマンスタイルは、51kg級に2年生の山際航平君、65kg級に3年生の矢部晴翔君、80kg級に2年生の西田衛人君、92kg級に1年生の北脇香君が出場しました。80kg級の西田君は2連覇を目指しましたが準決勝で敗れ、3位入賞でした。51kg級の山際君、65kg級の矢部君は決勝で敗れ準優勝でした。最後に優勝を託された北脇君ですが、2回戦では夏の全国大会覇者で第1シードの群馬県の選手にフォール勝ちするなど、圧倒的な力を見せつけ決勝へ進出。決勝戦では相手の投げ技を受けながらもそのまま返して逆転テクニカルフォール勝ちで見事優勝を果たしました。北脇君は1年生での国体王者となり、3連覇が期待されます。また今年は、出場選手全員が入賞しました。今後は新チームになりますが、次の大会での活躍を期待したいと思います。



最後に優勝を託された北脇君ですが、2回戦では夏の全国大会覇者で第1シードの群馬県の選手にフォール勝ちするなど、圧倒的な力を見せつけ決勝へ進出。決勝戦では相手の投げ技を受けながらもそのまま返して逆転テクニカルフォール勝ちで見事優勝を果たしました。北脇君は1年生での国体王者となり、3連覇が期待されます。また今年は、出場選手全員が入賞しました。今後は新チームになりますが、次の大会での活躍を期待したいと思います。

ロボコン山梨 2019 対戦型ゴルフボール入れ

ロボコンやまなし高校生の部 I（対戦型）競技に、電子機械科・システム工学科の生徒が製作した3台のロボットが出場しました。対戦型は毎年課題が変わり、製作には非常に時間と労力を費やします。今年度はゴルフボールを高さの違うゴールに入れていき、色の違うボールを形の違うゴールに入れていくという課題でした。小さくて重いゴルフボールを高さ30cmまで上げることに苦労しましたが、生徒は一生懸命製作に励み、精度の高い立派なロボットを完成させました。また、早めに完成していたために十分な練習時間を確保でき、本番でも練習通りの力を発揮することができました。結果は1位から3位を独占し、最高の形で終えることができました。来年度も優勝を目指して、現2年生には頑張ってもらいたいと思います。



対戦型玉入れ競技

制御工学科及びロボット工学部員総勢18名（1年生5名、2年生9名、3年生4名）は、9月から「ロボコンやまなし2019」出場に向け、球入れロボットの製作に取り掛かりました。しかし、就職・進学試験や資格試験の講習等で思うように進まず、構想は幾つもあったものの、実現に至るまでには多くの困難がありました。お手玉を拾う部分は、キャタピラ式で先端部に針を付けたものが安定して取り込めるということでほとんどのロボットで採用しました。お手玉を飛ばす部分は、ピッチングマシンの原理を利用して2つの車輪を回し、その間に球を送り込んで飛ばす方法にしました。また今回は、多くの球を取り込むという点に特に工夫を凝らしました。しかし、規定の30cm四方のスペースに多くの機能を取り付けるのは難しく、製作に多くの時間が割かれ、大会当日の朝まで掛かってしまったチームもありました。迎えた大会当日、7台中2台のロボットが予選を突破し準決勝に進み、そのうち1台が産業技術短期大学校Bチームに勝利しました。しかし、産業技術短期大学校Aチームとの決勝では、前半のちょっとしたトラブルから差をつけられ、後半も追いつくことができず敗れてしまいました。大会を終えた生徒からは、「来年は優勝する」「まだまだ細かい調整が必要だった。」など、更なる挑戦を志す声が聞かれました。今後は、現1、2年生がさらに技術力を身につけ、他校に負けないようなロボットを作ってくれることを期待しています。



準優勝：ロボット名「身勝手の塚悟空・兆」

制御工学系列2年 大塚 拓馬君・大塚 和馬君（甲府東中出身）

アイデア賞：ロボット名「葦工MM号」

制御工学系列2年 小野 仁嗣君（白根巨摩中出身）・飯窪 永遠君（葦崎西中出身）

情報技術系列2年 菊原 青空君（高根中出身）・中嶋 駿友君（高根中出身）

青柳 健太君（高根中出身）

URL <http://www.nirasakith.kai.ed.jp>

e-mail info@nirasakith.kai.ed.jp